

市民ご招待  
期間中、この広報を持参で  
2人まで無料でご覧いただけます

展示解説会  
13時半〜14時

2月9日(金)  
3月1日(金)

当館が所蔵する  
江戸時代から  
明治・大正期の  
遠野のひな人形を  
中心に展示します。

令和5年度冬季特別展

# 遠野の ひな人形



令和6年2月9日(金)〜3月5日(火)

〔休館日〕 2月19日(月)  
3月4日(月)

遠野市立博物館  
TOHNO MUNICIPAL MUSEUM  
岩手県遠野市東館町3-9 遠野市立博物館  
TEL: 0198-62-2340 FAX: 0198-62-5758



試合結果  
12月31日 埼玉スタジアム2002(埼玉県)

遠野	0	0-1	1	大津
シュート数				
前半	2本		前半	3本
後半	6本		後半	3本



1\_遠野のスターティングイレブン。主将・4番島山哉人(3年)がキャプテンマークを巻いた 2\_中盤でゲームを組み立てる10番昆野翔太(3年) 3\_11番池口遥葵(3年)が相手陣内でボールを受けチャンスを作る 4\_高い位置でボールを奪い、前進する5番菊池遥大(3年) 5\_涙をこらえ、互いの健闘を称え合う選手。好勝負を繰り広げた両チームの選手に観客席から大きな拍手が送られた

## 第102回全国高校サッカー選手権大会は昨年

12月28日から1月8日までの日程で行われ、駒沢陸上競技場(東京都)などで熱戦が繰り広げられた。遠野の初戦は12月31日、埼玉スタジアム2002で熊本県代表の大津と対戦。0対1で惜しくも初戦敗退となった。

試合は立ち上がりは相手から攻め込まれ、前半8分に先制を許す。失点後は、積極的にボールを奪うもゴールを割れず、0対1で前半を折り返した。ハーフタイムに「自分たちのサッカーをしよう」と話し合ったイレブン。後半23分に決定機を迎える。14番右近優太(3年)からのクロスが7番馬場大瀬(2年)へ。頭で合わせるとキーパーにセーブされ得点ならず。その後も攻め続けたが、試合終了のホイッスルが鳴った。

最後までボールを追いかける姿に、伝統校の誇りが見えた。全力で戦ったイレブンに、応援席の生徒や保護者からは惜しめない拍手が送られた。

## INTERVIEW

前主将・DF  
島山 哉人 さん  
(3年、飯豊中出身)



### 全国基準のチームに期待

前半は動きが固かったが、後半は自分たちの持ち味が生かされた。惜しい場面もあったが、1点が遠く悔しい結果に。後輩たちには、全国レベルを基準にしたチームをつくってほしい。

現主将・MF  
馬場 大瀬 さん  
(2年、遠野中出身)



### 個々の力高め再び全国へ

全国は個人の能力や意識が高く自分たちとの差を痛感した。新チームは、パスサッカーと個人の突破力に磨きをかけたい。目標は、まず県優勝。来年もまた全国の舞台に立ちたい。

サッカー部監督  
佐藤 邦祥 さん  
(同高サッカー部OB)



### 伝統校に恥じない戦いを

負けはしたが、全国の強豪相手に攻守にわたって良い勝負ができた。2年生には3年生のプレーを進化させたチームづくりを期待。向上心を持ち、伝統校に恥じない戦いをしてほしい。